

地震工学会
津波などの突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会
第17回研究委員会 議事録(案)

1. 日時：2015年11月10日(火) 10:00～12:00
2. 場所：工学院大学(西新宿) 21階第5会議室
3. 出席者：後藤, 山本, 有川, 末松, 佐藤, 久田, 高田(H), 三上(H), 村上(H), 甲斐(H),
山本(オアザード参加), 荒木(記)
4. 資料：
 - 資料 17-1 第17回研究委員会 議事次第
 - 資料 17-2 第16回研究委員会 議事録(案)
 - 資料 17-3 津波避難実態調査資料収集分析部会 報告
 - 資料 17-4-1 第8回「首都圏における地震・水害等による複合災害への対応に関する委員会」報告
 - 資料 17-4-2 災害時のエリアモニタリングと対応力向上の技術開発コンソーシアム
 - 資料 17-4-3 2015年日本地震工学会大会・横断セッション「巨大都市で想定される様々な災害(オールハザード)の現状と対策を考える」
 - 資料 17-5 避難シミュレーション部会 活動報告
 - 資料 17-6 国際交流WG 活動報告
 - 資料 17-7 委員会報告会の開催、報告書の作成について
 - 資料 17-8 論文特集号「津波等の突発大災害からの避難の課題と対策」WEB
 - 資料 17-9 JAEE年次大会におけるポスター展示について
 - 資料 17-10 予算の執行状況 2015.11.4

5. 議事内容

5.1. 議事確認

- ・ 第16回研究委員会の議事録の確認を行い、修正意見無く承認された。

5.2. 各部会からの報告

(1) 津波避難部会

- ・ 佐藤委員より活動報告があった。
- ・ 中土佐町での意見交換会について打診していて、返答待っている。3月に間に合うかは不透明。
- ・ 石巻の避難データの整理、マップ化終了。今後、実施者の確認と電子化をする予定。
- ・ 電子化については、三上先生の学生にお願いする。学生への依頼は、前の月までに言っておけば問題ない。避難経路の電子化版については、国交省フォーマットに合わせて整理した方がよい。

- ・ ヒアリングしたメモを記録として残しておきたい。どのような形でメモを残すかについては後藤委員長が検討する。
- ・ 津波避難の課題と対策については、議論が不十分であり、部会を開いて集中議論する必要がある。土木学会でまとめた報告書も活用できるのではないか。
- ・ 南海トラフへの対策については、後のこと(委員会活動終了後)をどうするかを見通して取り組んでおく必要がある。
- ・ データの公開の継続については、学会のIT委員会と調整が必要である。学会事務局に相談して欲しい。
- ・ 委員会報告書には論文特集号に記載した内容が利用できると思う。

(2) 都市避難部会

- ・ 会長特別委員会としての報告、コンソーシアム設立報告、シンポジウム開催報告(2回)について説明があった。
- ・ 会長特別委員会、報告書・報告会については、本委員会と連携した成果としてとりまとめをお願いしたい。
- ・ JAEE 全国大会の横断セッションは集客に課題が発生するのではないか。来年の高知の大会(9/26, 27)では会長特別委員会の成果を出したい。

(3) シミュレーション部会

- ・ 現在、7団体に依頼してV&Vの検証解析を実施中。
- ・ この取組みは名前を出して参加を煽るようなものではない。エントリー者の公表は控える
- ・ 8月6日に開催された仙台震災対策技術展でセミナーを開催した。
- ・ 横浜震災対策技術展(2016.2.3)でもセミナーを実施予定。東北大学の桑原先生(交通工学委員会)、末松委員(ベクトル総研)、荒木委員(KKE)でのセミナー開催を予定している。
- ・ 自分たちの技術を公表するのは大事な機会なので多数の参加を期待している。
- ・ .

(4) 国際部会

- ・ WCEEについては、7件の投稿(把握している数)を確認した。
- ・ 報告書の部会担当部分でインドネシア(バンドアチェ)での調査データをリマークして紹介することも可能。
- ・ 目次については村上先生に決めてもらいたい。

5.3. 委員会報告会と報告書について

- ・ 目次については各部会で内容に応じて変更してもらいたい。

- ・ 報告会開催日については、4月か、5月中旬に地震工学会の総会があり、その前に済ませておきたい。
- ・ 場所が工学院の場合は4月以降にしか確保できない。その点をご了解いただきたい
- ・ 報告会を一般の人たちを対象とするのは難しく、30～40人対象に成果を共有するということでもよい。会費の徴収については、今年度の予算の執行と合わせて検討する。
- ・ 報告会は5月の中旬で日程を検討する。遠方の方も参加出来るように補助なども検討する。
- ・ 予算については年度内執行が原則。印刷費も含めて年度内に収めたい

5.4. 論文特集号発刊

- ・ 論文特集号について、発刊の報告があった。

5.5. 年次大会のポスター展示について

- ・ ポスター展示記載内容についての解説が後藤委員長より説明があった。
- ・ 追加修正があれば早めに連絡をして欲しい。

5.6. 予算について

- ・ 現状と今後の予定について、報告および説明があった。

5.7. その他(次回開催について)

- ・ 次回委員会は年明けを予定する。
- ・ 寄付金の来年度の繰越について事務局に確認する。

以上